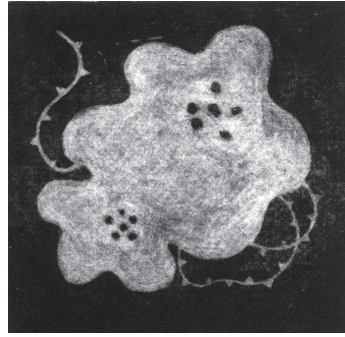


# センター試験の 分析と対応

渡辺 聡

東京学芸大学附属特別支援学校



## ① 2013年度「筆記試験」の分析と対応

### 1. 全体的な傾向

今年のセンター試験[筆記]でもコミュニケーション能力と読解力を試す出題がされた。設問形式が若干変わった箇所があるが、全体的な傾向は変わっていない。レベルとしては例年通り基本的な問題が多く、平均点は119.15となり、昨年度124.15、一昨年度122.78と比べ低くなった。第2問～第3間で語数が昨年度より200強増加し、総語数は昨年度に続き増え、4,000語を超える分量になっている。

コミュニケーション能力をみる問題としては、  
第1問A：単語をきちんとした音で発話する能力  
第1問B：単語を正しいアクセントで発話する能力  
第2問B：対話がスムーズに流れるよう、適切な発話を考える能力  
第3問A：初出の単語や表現でも、全体の流れから意味を類推する能力  
第3問B：発言の内容を要約する能力  
が、例年通り求められている。

また読解力では、  
第3問C：パラグラフ単位で、文章の構成を論理的に思考する能力  
第4問：グラフや表、説明文を参考にして文章を正確に読み取る能力  
第5問：映画紹介サイトに投稿された感想を読み、英文やイラストを正確に把握する能力  
第6問：論説文の流れを正確に追い、論の展開をつかみながら長文を読み取る能力  
が、試される。いずれも文章の全体的な流れをつかんだ上で、的確な情報を読み取る日頃の学習姿勢が問われる。

### 2. 具体的内容分析

#### <第1問>

形式、解答数は昨年度と変わらず。問題数がAで1問減り、Bが1問増えた。

#### A 発音 (6点：解答数3)

基本的な単語の発音(母音字1問、子音字2問)を問う問題。カタカナにしたときの音に惑わされやすい語(medium、meter〔問1〕)も出題された。昨年度に引き続き黙字(t〔問3〕)が出題された。

#### B アクセント (8点：解答数4)

単語のアクセントのある箇所を問う問題。昨年度と同様、2、3、4音節の語が出題された。昨年度あった見出し語はなくなった。例年通り、カタカナにしたときのアクセントに惑わされやすい語(percent、success〔問1〕、energy〔問2〕、dynamic、hamburger〔問3〕、operator〔問4〕)も複数出題された。

#### <第2問>

形式と問題数、配点は昨年度と変わらず。

#### A 語彙、語法、文法 (20点：解答数10)

語彙、イディオム、動詞の用法等を判断する問題。対話形式での出題はなかった。動詞の用法を問う問題(must have + 過去分詞〔問3〕、will have + 過去分詞〔問4〕、suggest that + S + 仮定法現在〔問5〕)は頻出である。イディオムやコロケーションの力を併せて要求する問題(consist of〔問6〕、put up with〔問8〕、keep an eye on〔問9〕、turn ~ down〔問10〕)も相変わらず多い。基本的な動詞やスペリングの似た語、関係詞、不可算名詞や同義語等の幅広い知識も合わせ持っておきたい。

#### B 対話文完成 (9点：解答数3)

対話文を完成させる問題。発話数はすべて4つ。

空欄で何を言っているのかを次のせりふから導く(I think inexpensive bags are just as good,からI don't think brand-name goods are worth the money.を〔問3〕)。日常生活でよく使われる表現(hand in、be due〔問1〕、be worth〔問3〕)に慣れておくこと、2人の関係(先生と生徒〔問1〕、意見の相違(TomはHirokoと同意見〔問3〕)等)にも気を配りたい。

#### C 語句整序 (12点：問数3、マーク数6)

各文の中に含まれる語彙・語法を使い、最も適当な文を完成させる問題。対話形式が1つ増え、2問になった(昨年度は1問)。動詞の用法は毎年問われている(owe ~ to ...〔問2〕)。比較(three times as ~ as ...〔問1〕)、enoughの使い方〔問3〕等、文法の知識も併せて確認しておきたい。

#### <第3問>

形式と問題数、配点は昨年度と変わらず。

#### A 語やフレーズの意味類推 (10点：解答数2)

単語やフレーズの意味を全体から類推する問題。対話やパラグラフの中でどのように論が展開しているか、状況が推移しているかを正確に読み取り、ヒントとなる語(句)を探して想像力を働かせる。

#### B 発言の意図の要約 (18点：解答数3)

3人の発言の要旨を選ぶ問題。ある事柄を別の表現で言い換えてまとめている(It=desert-style rock garden) looks great, but more importantly, doesn't need much care.をa desert-style garden is better because it is more economicalで〔空欄30〕、we could use rocks(中略) to create a cooler impression. Some desert plants offer shade as well as beauty.をit is possible to create a refreshing space with a rock gardenで〔空欄31〕)ことが多いので、発言の主旨を理解し、まとめる柔軟な読解力が必要とされる。

#### C 適文補充 (18点)：解答数3)

指定された空欄に、選択肢で与えられた適切な文や文の一部を補う問題。

選択肢の文中、及び挿入箇所前後の代名詞や指示語、接続する語(句)に注意を払い、論が正しく展開するように当てはめていく。〔空欄33〕では直後にFor example、があるので、その具体例を説明する文を選ぶ。

#### <第4問>

形式と問題数、配点は昨年度と変わらず。

#### A グラフ読み取り問題 (18点：解答数3)

本文と表を参考に、展開される論からの確かな情報を得る力を問う問題。本文で得た情報を順次表に当てはめ、One of the ~やAnother ~といった語からポイントを整理していく。〔問3〕は本文からだけでなく、表からも情報を得なければならない。

#### B 広告読み取り問題 (15点：解答数3)

広告から適切な情報を読み取る問題。設問を読み、与えられた条件をもとに、合致する情報がどこにあるのか探し出していく。問いに関する情報は上から順に出てくるわけではないので、設問の求める情報がある箇所(複数の情報を合わせる場合もある)を的確につかむことが大切である。

#### <第5問> (30点：解答数5)

形式と問題数、配点は昨年度と変わらず。

2人の発言から、事実の確認とそれぞれの感想の違いをとらえる。ここでも、本文のAnyone who loves the book can still enjoy this movie, and if you love the movies, go read the book too! が、選択肢ではAfter watching the movie, Satoko thought that it made her like the book even more.〔問1〕に、本文のI usually avoid foreign language movies as I find it difficult to read the subtitles and pay attention to the scenes at the same time.の意図が、選択肢ではJoe expected that it would be hard for him to follow the story.〔問2〕)と言い換えられている。それぞれの発言から、ある事項に対する考え方を丁寧に拾い上げる力が求められる。

#### <第6問> (36点：問数6、マーク数10)

形式と問題数、配点は昨年度と変わらず。

各段落の趣旨をまとめる問題と、論全体の意図を問う問題が例年通り出されている。各パラグラフのポイントをつかみ、論がどのように展開し、筆者の主題の要点は何か、という広くかつ深い読解力が求められる。また、正解の選択肢は本文で使われていない単語や表現で求められる場合も多いので、基本的な類義語を理解する力も必要である。

### 3. 昨年度から変化のあった点

- ①総語数は200語強増加し、昨年度に引き続き4,000語を超えた。特に増えたのは第2問が約50語、第3問が200語弱である。
- ②第1問Aの設問数が4から3になった。
- ③第1問Bの設問数が3から4になった。
- ④第1問Bの見出し語がなくなり、一昨年度同様、第一アクセント（第一強勢）の位置が、ほかの3つと異なるものを選ぶ形になった。
- ⑤第2問Aで対話形式がなくなった。
- ⑥第2問Bの対話の数が、一昨年度同様、すべて4つになった。
- ⑦第2問Cでマークする箇所が2番目と4番目になった（昨年度は2番目と5番目）。
- ⑧第2問Cで対話形式が2つになった。
- ⑨第3問Cでイラストが載った。
- ⑩第4問Aのグラフが表になった。
- ⑪第5問のイラスト問題が、適切なものを選ぶものではなく、順番を問う形だった。
- ⑫第6問で段落構成を問う問題の解答数が、4から5に増えた。

### 4. 日頃の学習で大切なこと

#### ①多面的に語彙を増やす

ただ単に単語の1つの意味だけを覚えるというのではなく、英語での定義、反意語、同義語、接頭辞・接尾辞、品詞の転換、自動詞・他動詞等、語彙を様々な方法で多面的に増やしたい。語彙に関連性を持た

せると、未知の語に遭遇したときにも想像力を働かせてなんとなく意味がつかめるようになる。また、カタカナになっている語の英語と日本語の意味の差異や、発音・アクセントに注意して覚えるのも1つの方法であろう。

#### ②英語を聞き、自ら口にする

アクセント・強勢・構文（主語と述語の区切れや省略等）に注意を払って日頃から英語を聞き、音読をする。単語一つひとつの音に注意を払い、そして文全体の内容を理解しながら読み進む。何回も繰り返して読み込んでいけば、なによりも英語の音に対する興味・関心が必ずや増し、同時にリスニング試験の対策にもなり得る。

#### ③論理展開を重視した読解力を養う

どんな読み物でも最後まで通して読み、論の展開がどのようになっているかをパラグラフ中心に考える。接続語を手掛かりに、パラグラフがどのように構成されているか、全体の論調を捉えてから各パラグラフのキーセンテンスを探し、自分のことばで要旨をまとめてみる。「木を見て森を見ず」にならない大局的な読み方を心がけたい。

#### ④多読を心がける

80分で4,000語を超える分量の英語を読みこなすには、普段から500～1,000語の文章をある程度のスピードで読むことを習慣とすることが大切である。授業では精読を中心に行っているが、時には様々な分野、テーマ、形式の、比較的易しい文章に多く触れるような機会を与え、分量をこなす読み方も覚えさせたい。

## Ⅱ 2013年度「リスニング試験」の分析と対応

### 1. 全体的な傾向

過去5年間ほぼ同じ出題形式である。解答数、配点いずれも昨年度と同じである。読み上げられた総語数は昨年度とほぼ同じ1,100語強であった。読み上げ速度は昨年度とほぼ同じで自然な感じであるが、音声面でのリダクションもあり、聞き取りにくい箇所もあったと思われる。問題音声は設問ごとに2回流された。比較的素直に英語の内容を問う基本

的な問題で、平均点は31.45（昨年度24.55、一昨年度25.17）となり、過去6年間で一番高くなった。内容はいずれも生徒の日常生活や学校生活の中で起きうる身近な話題がテーマになっている。

### 2. 具体的内容分析

#### <第1問>対話ビジュアル（12点：解答数6）

●男女2人の対話を聞き、適切なイラスト、数字、単語を選択する

#### ●各対話の総語数：30語前後

イラストを選ぶ設問2問、数字を選ぶ設問2問、単語を選ぶ設問1問、表を選ぶ設問1問であった。例年出題されていた、図から適切な場所を選ぶ設問の代わりに、適切なはがきの文面を選ぶ設問があった。選択肢は単語のみで、文はなかった。最初のせりふで状況を大まかに把握し、求められる情報を的確に探し出す。対話に出てくる語（句）や数字がそのまま答えになるとは限らず、簡単な計算をする設問もある。キーワードは2番目～4番目のせりふに出てくる。一部を聞き逃すと正答にたどりつけない設問（something larger〔問3〕）や日常生活で使われる単語（a two-story house, solar panels〔問1〕）、計算を伴う設問（下記下線部参照）も出てくるので、集中して聞く姿勢も問われる。

#### 問4

Woman: How's the soccer game going?

Man: Well, the Bears have two goals, but they're behind.

Woman: There're 14 minutes left. They still have a chance.

Man: Yeah, two more goals to win the game!

#### <第2問>対話応答補充（14点：解答数7）

●対話を聞き、最後の発言に対する相手の応答を選択する

#### ●各対話の語数：約20～50語弱

相手の述べたことへの自然な反応を考える。昨年度同様、最後の発言が疑問文の設問も2つあった。最初の2つのせりふから、会話の場面や状況を想像できるようにしたい。また、How about～?（読み上げ文）〔問7〕、turn in、Thanks for reminding me.（読み上げ文）〔問11〕等、日常会話でよく使われるフレーズは頻出である。会話のやりとりの内容から、相手の発言に賛成（好意的）／反対（批判的）であるかがわかると正解にたどりつきやすくなるし、マナーとしての相手に対する気遣い（下記下線部参照）も知っておきたい。

#### 問13

Man: If you're free this weekend, do you want to go to the beach?

Woman: I wish I could, but my parents are coming to visit.

Man: Oh, OK. Maybe next time.

選択肢

- ① I had a good time.
- ② Sorry to hear that.
- ③ Thanks for asking.（正解）
- ④ You're welcome.

#### <第3問A>対話内容Q&A（6点：解答数3）

●対話を聞き、その内容についての問いを読み、答えを選択する

#### ●各対話の総語数：50語弱

5W1Hで始まる質問の答えを対話から探す。せりふの数は昨年度は8つのものが出題されたが、今年度は一昨年度までと同じ、5つか6つのみになった。対話を最後まで聞き、状況や流れの変化をきちんととらえる。事前に質問と選択肢の中のキーワードを読みとり、最初のせりふを聞いた段階で場面が想像できるようにしたい。話者が相手に同意しているのかそうでないのかといった話の流れをつかむ力とともに、選択肢のOne that is very simple〔問15〕がせりふのa phone that dials and ringsの言い換えであることを理解する力や、せりふのOK, I'll come back on Monday. が茶のジャケットを買うつもりであることを指す（下記下線部参照）といった話者の意図を正確につかみ取る力も求められる。

#### 問16

Woman: Do you have this style of jacket in size 11?

Man: I'm afraid there aren't any brown ones left in that size. But we have this red one.

Woman: Umm...it's too bright for me.

Man: More brown ones are coming in next Monday.

Woman: Elevens, too? OK, I'll come back on Monday.

質問: Which of the following is true about the woman?

選択肢

- ① She can't wait until next Monday.
- ② She doesn't like the style of the jacket.
- ③ She prefers a brown jacket.（正解）
- ④ She thinks she would look better in red.

### <第3問B>対話ビジュアル (6点:解答数3)

●対話を聞き、その内容からわかることを表の空所に埋める

●対話の総語数: 約100~150語

聞き得た情報を図表に当てはめていく。選択肢の数字がそのまま読まれるとは限らないし(表の数字の3.7%は only about four percent (読み上げ文)、問いには必要とされない情報(Russia, UK, Canadaからの留学生の数字)も出てくる。また、the US sends the fewest of the threeを聞き取れないとUSが解答欄①と②のどちらに入るのかわからないので、表に載っている情報を正確に読み取る力も要求される。情報は上から順に出てくるとは限らないので、最後まで注意深く聞くことも必要である。

### <第4問A>

#### Short Passage 内容Q&A (6点:解答数3)

●Short Passageを聞き、その内容についての質問を読み、答えを選択する

●各せりふの総語数: 100語弱

質問文から事前に推測した状況をもとに、出てきた情報を一つ一つ積み重ねていき、求められる情報を整理する。選択肢では答えとなる語を別の表現で言い換えたり、まとめることがある場合(Soon, Angoras became popular outside France and could be found throughout Europe by the end of the century. (読み上げ文)を Europeans outside France began keeping them as pets. (に〔問20〕)も多いので、要点をつかむ力も求められる。

### <第4問B>説明文内容Q&A (6点:解答数3)

●説明文を聞き、その内容についての質問を読み、答えを選択する

●説明文の語数: 200語弱

質問文に目を通し、事前にどれだけの状況を想定できるかがポイント。本問題では3つすべての質問文にcollectingとあるので、英語を聞く前にキーワードはわかる。あとは話の流れに沿って順に問題に当たっていく。全体の内容を総合的に理解する力と、求められた情報を正確に取り出す力が必要とされるが、ここでも選択肢では答えとなる箇所が別の表現で言い換えられる(It (=your collection) may take over your homeが Collections may take up too much space. (に〔問23〕)ことが多い。話の流れが変わったり固有名詞が出てくる場合もあるの

で、メモを取りながら質問されるポイントの個所を絞って聞くことも大切である。また、1回目と2回目の読み上げの間に約45秒のポーズがあるので、情報が出揃った段階で各問の答えを絞り、2回目は確認の作業に当てたい。

## 3. 対応のポイント

### ①状況・場面を想像する力を育成する

事前に問題指示文、選択肢、イラスト、状況説明文等に目を通し、内容を推測しておく。聞く前に精神的なプレッシャーをできるだけ少なくしておくことも正しい聞き取りへの第一歩である。

### ②英語特有の表現に慣れる

話の展開がつかめれば意味がわかる表現でも、in that case〔問6〕、What about you?〔問9〕、be supposed to〔問11〕のようなフレーズは聞けるだけではなく、意味が自然に頭に入るまで聞き慣れておくようにしておきたい。

### ③対話の流れや方向性をつかむ

最後の発言に対する相手の応答を考える場合(第2問)、それまでの話の流れを理解し、これからどのような展開になるのかを推測する能力が求められる。その際、途中で展開が変わり、最初に出てきた情報が最後まで同じとは限らない。方向性を予測した上で、最後まで丁寧に流れを確認したい。

### ④言い換えの表現を読み取る

リスニングと言っても選択肢を読み取る力は筆記試験同様に要求される。聞き取る英語の表現がそのまま選択肢に入っているとは限らず、ある表現を別の形で言い換えてある場合も多くある。正答の鍵となる情報をきちんと整理する力もつけておきたい。

### ⑤全部完璧に聞き取れなくてもよしとする

筆記試験で、英文を一字一句完璧に理解する必要がないのはリスニングにおいても当てはまる。リスニングでは、聞き取れなかった箇所でも悩まんでしまうと次を聞き逃すことになる。たとえ理解できなかった部分があってもそのまま流し、「残りからさかのぼって推測すればいい」と思うくらいの余裕が欲しい。